

ねんりんピックえひめ大会 2023 結果報告

2023年10月28-31日、ねんりんピック（第35回全国健康福祉祭）が愛媛県において開催され、さいたま市テニス競技で代表選手6名が参加しました。

愛媛県には本大会29の運動、文化種目を展開し観客含めて50万人の来訪者を見込んでいて、さいたま市からは役員含め約140名の選手団を派遣しています。

28日に、愛媛県総合運動公園陸上競技場で皇室をお迎えし開催地総出の工夫を凝らした郷土芸能を盛り込んだおもてなし総合開会式に、全国60歳以上を代表する選手、役員約2万人が参加し、健康、交流、そして大会への意気込みを感慨深く味わいました。

総合開会式風景



開会式に臨むさいたま市選手団



テニス競技は10月29、30日に松山中央公園テニスコートで、全国68チーム17ブロックに分かれた交流テニス大会。29日、4チーム予選リーグ（福島県、三重県、愛媛県3）と対戦し、福島、三重には3戦2-1での辛勝、しかし、愛媛3に1-2と競り負けて結果、リーグ戦2位でのトーナメントへ。

30日、第2位グループ17チームのトーナメント戦で、初戦不戦勝を経て2回戦千葉市へ2-1、3回戦昨年度の優勝千葉県へ2-1、SF岡山市へ2-1と、途中なかなか余裕味わうことなくすべて辛勝での決勝進出、ここで強豪愛知県（昨年度も苦杯を帰した）に、ついに1-2で競り負け惜しくも準優勝となりました。

今年のさいたま市選手団は、理論、正統派が切磋琢磨する男子70才、キャピキャピのチームワーク抜群女子60才、それと多少乱れは有ったものの全日本パワー60才男子はさすがの6勝1敗の安定的勝利を稼いでくれました。一つ負けても2勝すれば勝ち上れる団体戦の良さを生かした“さいたまチーム”の底力あるしぶとさが功を奏した形です。

もう一つのねんりんピックの魅力、交流も各地のテニス愛好家と余すことなく存分に味わって帰路につきました。選手の皆様お疲れさまでした。



トーナメント決勝後



準優勝メダルをかけて



慰労を兼ねてお疲れさまでした。

60 男子	浦田 幹男	(にこにこ TC)
	石川 英明	(フロックス)
60 女子	志村 節子	(ジャスミン)
	山添 由美	(ジャスミン)
70 男子	山本 礼二	(浦和パーク TC)
	富岡 守	(ルネサンス浦和)

*ねんりんピック全国大会、今後の予定は、来年(鳥取)、25年(岐阜)そして、26年は埼玉県と計画されており、皆様方もどんどんねんりんピックにチャレンジしてください。

選手団引率:小林一幸